

C10SW502

レインセンサー

この度はレインセンサーをご購入頂きありがとうございます。
ご使用前に本書をよく読み、下記の注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、弊社までお問合せ下さい。

施工説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。



警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を
起こすおそれがあります。

- ・ 本体を改造して使用しないで下さい。
- ・ 本製品は自動散水機器の制御を助ける物です。違う目的に使用しないで下さい。



注意

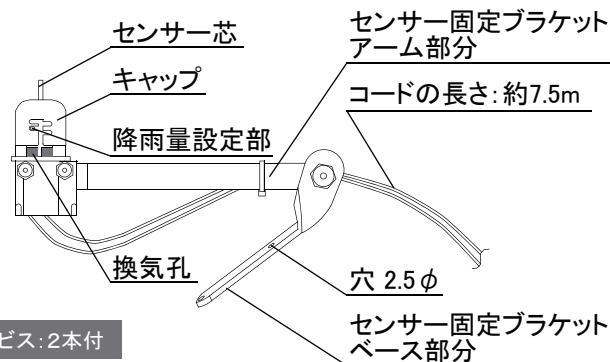
注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- ・ 本製品を使用する場合は当社指定の自動散水コントローラーをご使用下さい。
他社コントローラーや機器での動作確認や保証は致しかねます。
- ・ 設置場所は室外機やボイラー等の近くを避けて、設置場所付近の温度、湿度などが
周囲とは異なる条件にならないようご注意ください。センサーが正常に作動しない
原因となります。
- ・ 定期的に正しく作動しているか確認をして下さい。
- ・ センサーのキャップ部分を子供がさわらない様にして下さい。

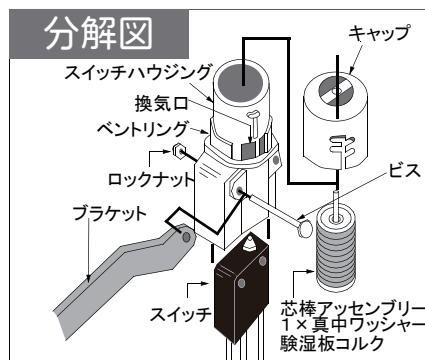
はじめに必ずお読み下さい。 レインセンサーの商品特長について

本製品は雨の有無を感知するまでに、一定の時間を要する仕様になっております。
雨感知の仕組みはセンサーキャップ内部にある験湿板コルクの吸湿、乾燥具合により、
雨量を感知する仕様になっています。(7ページ『レインセンサーの仕組み』参照)
そのため、自動散水開始の直前や最中に雨が降り始めた場合には『雨が降っているのに
散水をしている。』事や、逆に『晴れているのに散水されない。』と言った事が起こり
得ます。故障ではなくあくまで雨量を感知、復旧までに一定の時間を要する本製品の
仕様としてご理解を頂き、ご了承下さいます様お願い申し上げます。

各部の名称



取付用ビス: 2本付



商品仕様

※商品の仕様は変更になる場合があります。

サイズ (単位:mm)	センサー部分: $\phi 23 \times 62$	使用電圧	24VAC
	アーム部分: 150×32	付属コード長さ	7.5m
重量	205g(乾燥時)	散水中止雨量	4段階: 3mm, 6mm, 13mm, 19mm

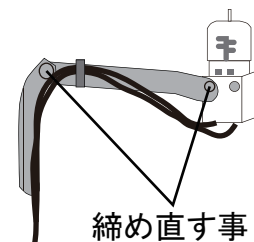
本体の取付

- 1: センサーを箱から出して、折り畳まれるベース部分とアーム部分を直角にします。センサー本体も垂直になる様にして下さい。



ベースとアーム間のネジとセンサー本体とアーム間のネジは出荷時には緩めてありますので、設置時に締め直して下さい。

- 2: ベース部分をビスで壁面や柱などに固定します。付属のビスが取付に適さない場合は、別途ご用意下さい。



締め直す事!

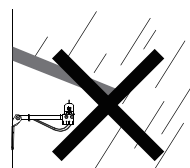


設置場所についての注意事項

本製品は『土(水を撒く場所の土壌)』と『センサー(内蔵の驗湿板コルク)』との水分に対する湿潤や、湿った状態からの乾燥具合が似ている事を利用して、驗湿板コルクがセンサー内部のスイッチを干渉する仕組みになっております。(7ページ:『レインセンサーの仕組み』もご参照下さい。)

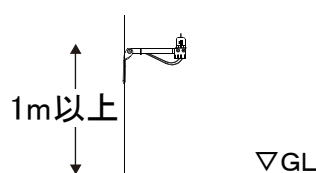
日当たりや風通しの良い場所では驗湿板コルクが早く乾き、日陰で風通しが悪ければ驗湿板コルクの乾きが遅くなり、散水の停止期間が長くなります。以下の場所は避けて設置して下さい。

軒下や物陰になる場所



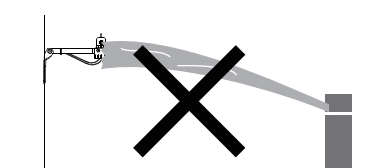
屋根や軒下で雨が当たらない場所【センサーが動きません】

子供が触れる低い場所



子供や動物が触れる高さの場所(低くなる場合はセンサーの作動を定期的にご確認下さい。)

雨以外の水が掛る場所



雨以外の水分(散水の水や家庭排水など)が掛る事が想定される場所

本体とコントローラーの接続

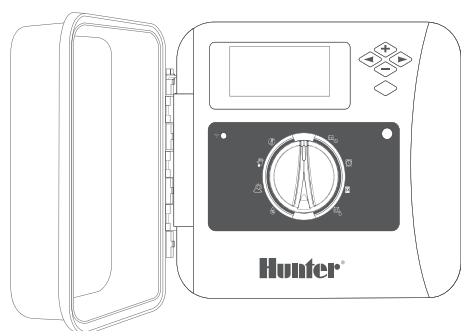


コントローラーの機種によって結線方法が異なります。
電源を切ってから結線作業を行ってください。



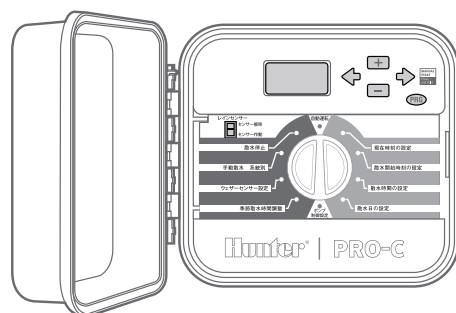
プロCコントローラーは2024年5月発売分より仕様変更しました。
センサー接続位置も変更しています。
液晶パネル等が異なりますので、ご確認ください。

現行仕様



4ページへ

旧仕様



5ページへ

本体とコントローラーの接続



コントローラーの機種によって結線方法が異なります。
電源を切ってから結線作業を行って下さい。

適応コントローラー

(ハードボックス仕様含む)

・プロCシリーズ (※)

C10SRC04Cなど/C10SRC04Hなど
※取付は16系統用まで同様です。

- 1：配電盤内部に、『SEN』の端子台に取り付けてある
金属プレートを取り外して、一方にセンサーの線を接続します。
もう一方は『COM』に接続します。
取り外した金属プレートは不要です。(下図A、B参照)

※：制御線（電線）を延長する場合は7ページの表を参考に、
制御線の太さをお選び下さい。

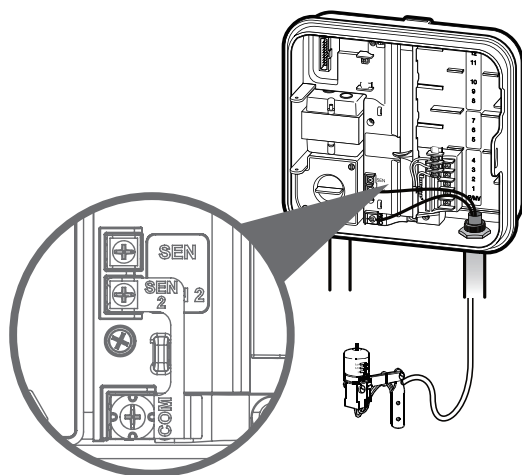
※：必要に応じ、制御線保護管（PF管など）を使用して、
制御線を保護して下さい。

- 2：センサーキャップを回し、降雨量設定部の突起を適宜合わせます。
(詳細は7ページ『感知雨量の調整』を参照)



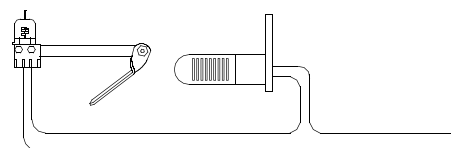
補足事項

- ・センサーには極性がありません。
(プラス、マイナスありません)
- ・『接点B』の作動時回路遮断です。
- ・付属の制御線は7.5mです。
- ・フリーズセンサーも付ける場合は
直列配線にします。
(7ページ『他センサーとの接続』
を参照)

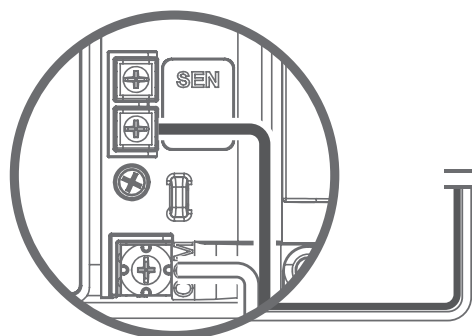


注：必ず直列配線にして下さい

レインセンサー
+
フリーズセンサー



注：金属プレートを
取り外してから
線を取付けて下さい。



本体とコントローラーの接続



コントローラーの機種によって結線方法が異なります。
電源を切ってから結線作業を行って下さい。

適応コントローラー

(ハードボックス仕様含む)

・プロCシリーズ:旧 (※)	C10SR400など/C10SR400Hなど ※取付は16系統用まで同様です。
・GBエコソーラー	C10RX600/C10RX600H
・XCハイブリッド	C10RX616/C10RX616H

- 1: 配電盤内部に、2つある『SEN』の端子台に取り付けてある金属プレートを取り外して、センサーの線を接続します。取り外した金属プレートは不要です。(下図A、B参照)

※: 制御線(電線)を延長する場合は5ページの表を参考に、制御線の太さをお選び下さい。
※: 必要に応じ、制御線保護管(PF管など)を使用して、制御線を保護して下さい。

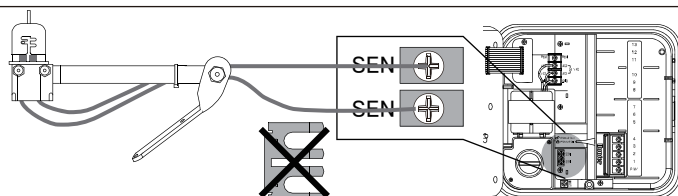
- 2: 操作盤部分にある『センサーON・OFFスイッチ』のレバーをセンサー作動に合わせます。(下図C、D参照)
3: センサーキャップを回し、降雨量設定部の突起を適宜合わせます。(詳細は7ページ『感知雨量の調整』を参照)



補足事項

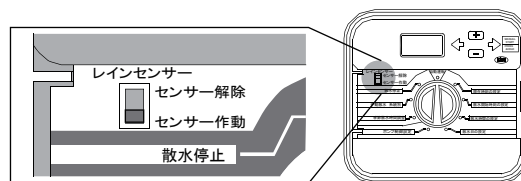
- ・センサーには極性がありません。(プラス、マイナスありません)
- ・『接点B』の作動時回路遮断です。
- ・付属の制御線は7.5mです。
- ・フリーズセンサーも付ける場合は直列配線にします。(7ページ『他センサーとの接続』を参照)

・プロCシリーズ:旧仕様



金属プレート(不要)

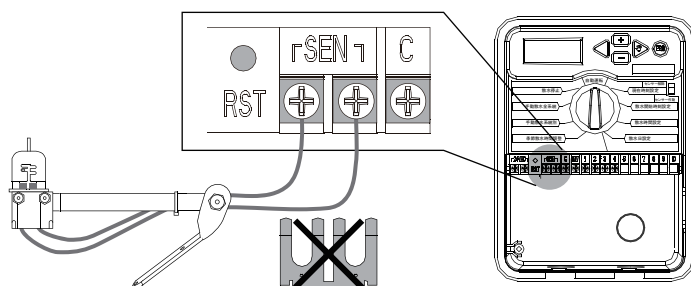
図A(プロCコントローラー)



センサー作動に合わせる。

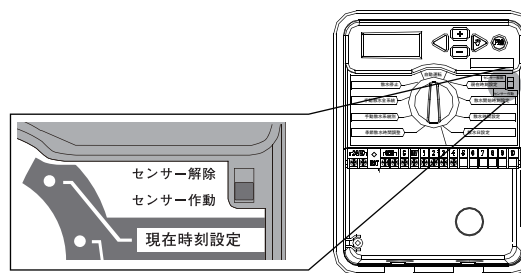
図C(プロCコントローラー)

・GBエコソーラー ・XCハイブリッド



金属プレート(不要)

図B(GBエコソーラー、XCハイブリッド)



センサー作動に合わせる。

図D(GBエコソーラー、XCハイブリッド)

本体とコントローラーの接続



コントローラーの機種によって結線方法が異なります。
電源を切ってから結線作業を行って下さい。

適応コントローラー

・プロSシリーズ (※)

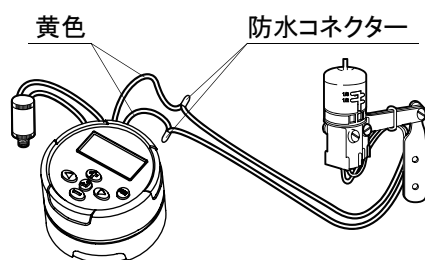
C10SR100など
※センサーの接続は同じです。

- 1: プロS: コントローラーから出ている黄色線を切断し、レインセンサーの線と接続します。(下図E参照)
 - 1: ソラクア: コントローラー背面の穴を通して本体とレインセンサーの線と接続します。(下図F参照)
- ※: 制御線(電線)は延長したり、束ねて接続しないで下さい。
制御線が長すぎる場合は切断して下さい。
- ※: 接続部分は防水コネクターや圧着端子(共に別売品)などで制御線を保護して下さい。
- 2: コントローラーを操作してセンサー作動にします。(下記参照)
 - 3: センサーキャップを回し、降雨量設定部の突起を適宜合わせます。
(詳細は7ページ『感知雨量の調整』を参照)

補足事項

- ・センサーには極性がありません。
(プラス、マイナスありません)
- ・『接点B』の作動時回路遮断です。
- ・付属の制御線は7.5mです。
- ・フリーズセンサーも付ける場合は直列配線にします。
(注: プロSのみ可、7ページの『他センサーとの接続』を参照)

・プロSシリーズ



図E(プロSコントローラー)

設定方法(プロSコントローラー)

- 1: ☂ が表示されるまで
◀ を長押しします。
- 2: + - ボタンで
作動、解除を設定
した後 ⏪ ボタンで
待機状態に戻します。



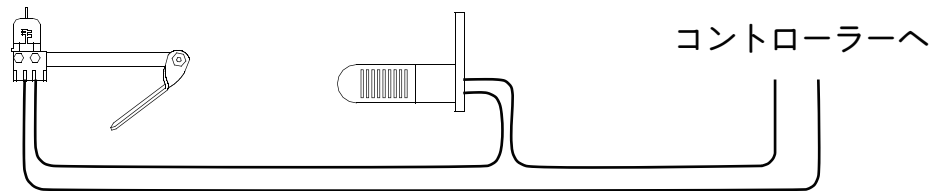
	ボタン	表示
センサー作動 ON	+	☂ 00
センサー解除 OFF	-	☂ OFF

・その他の機種

- ・その他の機種については、該当コントローラーの取扱説明書をご参照下さい。

他センサーとの接続

フリーズセンサーと一緒に接続する場合は
図を参考に必ず直列配線して下さい

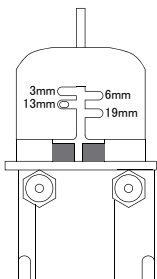


制御線の延長

付属の制御線は長さは7.5mあります。長さが足りなくて、制御線を延長する場合は
下表を参考に別途ご用意下さい。(推奨ケーブル種類：CVV、VCTFなど)

必要な延長距離	7.6~15m	15~30m	30m~50m
AWG(American Wire Gauge)	20	18	16
断面積(sq)	0.5	0.75	1.25

感知雨量の調整



レインセンサーは自動散水を中止させる感知雨量を4段階で調節出来ます。
(3mm、6mm、13mm、19mm)


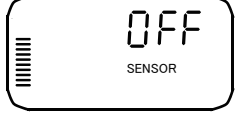


感知雨量の調節を行う場合には、センサーキャップを回転させ、希望する
降雨量の位置に設定します。強くひねるとピンが壊れるのでご注意下さい。
センサーが作動して、散水を中止した後の復旧時間は天候状況で変化します。
センサーキャップ下の換気孔のリングを回して、開き具合を調整すると乾燥
までの復旧時間が調整出来ます。

レインセンサーの仕組み

晴天の時	雨が降ると…	驗湿板コルクについて
<p>スイッチOFF=回路通電</p> <p>驗湿板コルク 内部拡大</p> <p>乾燥した状態</p>	<p>スイッチON=回路遮断</p> <p>驗湿板コルク 内部拡大</p> <p>コルクが湿って 膨張した状態</p>	<p>驗湿板コルクは消耗品です。膨張と乾燥を繰り返す内にコルク自体が劣化してセンサーの機能が正常に働かなくなる事があります。驗湿板コルク内蔵のセンサーキャップのみの販売もしておりますので、取付工事業者や販売店などへお問い合わせ下さい。(交換時期の目安は5年程度です。) 【商品コード：C10SW500】</p>

液晶表示とセンサーの解除

センサー作動中の表示は以下のようになります。センサー設置後の解除については3～6ページも併せてご覧下さい。

・ プロCシリーズ		・ プロCシリーズ:旧	
<p>センサー作動中の液晶表示</p>  <p>「OFF」と「傘」の表示が出ます。</p>	<p>センサーの解除方法 (センサーバイパス)</p> <p>『センサー解除ボタン』を押せば、24時間センサーが解除されます。</p>	<p>センサー作動中の液晶表示</p>  <p>「OFF」と「SENSOR」の表示が出ます。</p>	<p>センサーの解除方法 (センサーバイパス)</p> <p>操作盤のセンサーON・OFFレバーを『センサー解除』にすればセンサーに関係無く散水されます。5ページもご参照下さい。</p>
・ GBエコソーラー ・ XCハイブリット		・ プロSシリーズ	
<p>センサー作動中の液晶表示</p>  <p>「OFF」と「傘マーク」の表示が出ます。</p>	<p>センサーの解除方法 (センサーバイパス)</p> <p>操作盤のセンサーON・OFFレバーを『センサー解除』にすればセンサーに関係無く散水されます。6ページもご参照下さい。</p>	<p>センサー作動中の液晶表示</p>  <p>「OFF」と「傘マーク」と「スプリンクラー禁止」の表示が出ます。</p>	<p>センサーの解除方法 (センサーバイパス)</p> <p>6ページを参考にセンサー『センサー解除』の操作をして下さい。</p>

よくあるQ&A

・ システムが激しい雨でも遮断されない場合 (コントローラーがセンサーを全く感知しない場合)

- 1: センサーに雨が普通に当たる状態あるかチェックして下さい。
センサーを遮るものが無いか? (木の葉や軒、壁、クモの巣、ゴミなど)
- 2: 『センサー作動』になっていますか?
『センサー解除』の場合は天候に関係無く散水されます。
(上図『液晶表示とセンサーの解除』を参照)
- 3: 自動散水開始前後の天候を考慮し、レインセンサーの仕様を確認下さい。
(1ページ『レインセンサーの商品特長』、7ページ『レインセンサーの仕組み』を参照)
- 4: センサーの配線は正しく接続されていますか? (各コントローラーとの接続を参照)

・ システムが全く動かない場合 (常時センサーが作動しているような場合)

- 1: センサーに雨以外の水分が掛っていませんか?
- 2: センサーのキャップの驗湿板を希望の雨量に調節してください。
- 3: 配線が正しいか? 断線していないか? をチェックして下さい。
接続確認後、センサー芯の棒を、スイッチがカチッと音がするまで押し込んだりをゆっくり繰り返して、スイッチのON/OFF (散水が中止されるかどうか) チェックして下さい。

— 庭にもっと快適を —



グローベン株式会社

〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31

TEL:052-829-0800 FAX:052-829-0801

Email info@globen.co.jp